

動物の連鎖状球菌性、又は肺炎雙球菌性腹膜炎に對し、僅かに本物質の2%を用ひて充分之を治癒せしめ得る。然し静脈内、筋肉内、又は皮下注射では效を奏しない。人體には甚だ有害であり、静脈内に用ひると溶血が起る。故に臨牀上では唯創傷、或は膀胱カタル等に、局所的に0.04%以下の濃度で用ひられ、速に感染を消滅せしめ得ると云ふ。ソ聯では本劑の4%アルコール液を局所劑として市販に出して居る。使用時水で50~100倍に薄め、洗滌濕布等に用ひて居る。

チロチヂンは上にも述べた如く、グラム陰性菌にも效を奏する1種の逆性石鹼である。やはり溶血を起す作用を起す作用がある。細菌に對する發育阻止作用は極めて顯著であつて 10^{-6} グラム(百萬分の一グラム)は10億のグラム陰性又は陽性の細菌によく奏效すると云ふ。

2) アクチノミチン Actinomycin

Actinomyces antibioticusの培養液中に存する物質である。試験管内での殺菌作用極めて強く、連鎖状球菌、肺炎雙球菌は100萬倍稀釋液でも良く殺菌される。然し生體內では無効である。而も高等動物には著しい毒性がある。

3) ノタチン (Notatin)

之はCoulthardがPenicillium notatum Westlingの培養液から採つた物質であつて、赤黄色の粉末で、化學的にはフラボプロテインである。本物質は葡萄状球菌に對し極めて強い作用があり、 10^{-9} 即ち10億倍で完全に之を阻止する。同様に連鎖状球菌、フリードレンデル氏菌、チブス菌、コレラ菌、脾脱疽菌、變形菌等にも効果がある。然し毒性強く臨牀上に用ひられない。

4) 其他の抗菌性物質

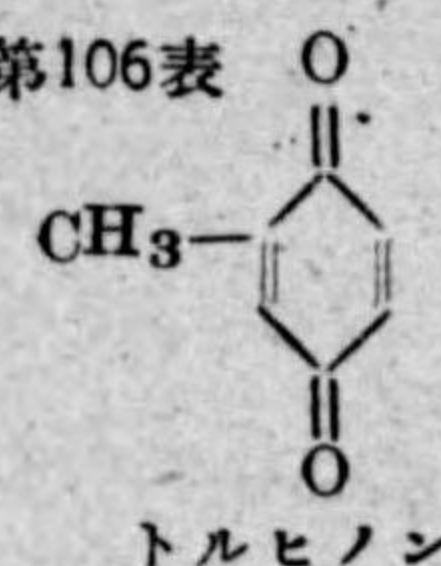
其他本編の初めに名を擧げた如く、種々の抗菌性物質が報告されて居る。今茲では是等に就て一々述べる事は避けるが、唯細谷教授の六番菌に就て一言する。之は同じく土壤中から得られたものでグラム陽性の病原菌に對し極めて抗菌性の強い1種の菌から分離した物質である。葡萄状球菌、連鎖状球菌、肺炎雙球菌、デフテリー菌等に對し強い抗菌作用があるのみならず、鳥の結核菌は本劑により溶解、消失される。又人型結核菌の死菌と共に培養すると之が溶解し消失するのが見られて居る。

5) 既に構造の明なる黴及び細菌の代謝物質

以上の様に、黴又は細菌の代謝物質の中には著しい抗菌性物質のあることが知られた爲に、今度は逆に黴又は細菌の代謝物質中で既に其構造の明になつて居る物質に對しても、抗菌作用の如何を研究され始めた。斯かる物質の中殊に重要なものを二、三述べると次の如くである。

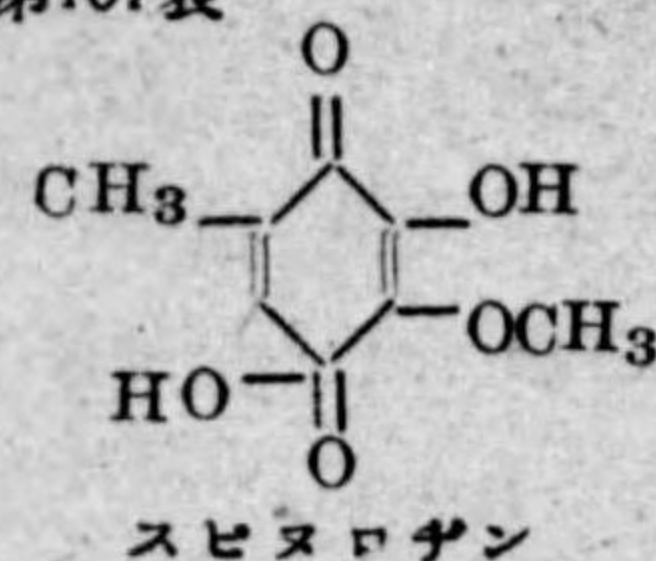
1) トルヒノン Toluchinon 誘導體

第106表



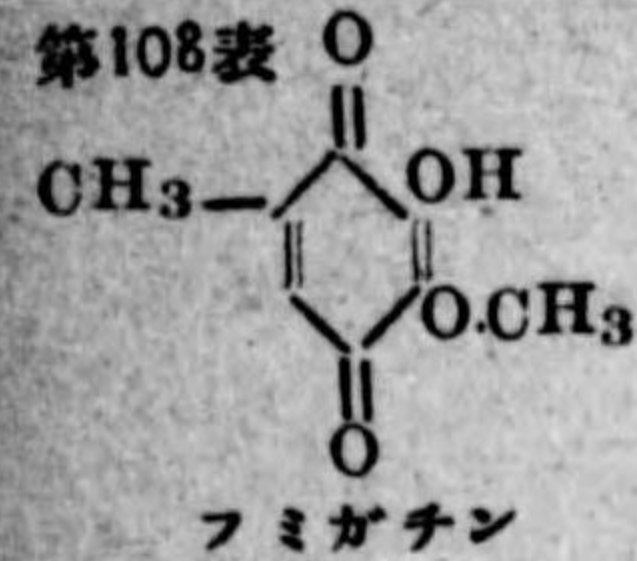
此誘導體中殊に注目すべきは、3-6-デオキシ・4-メトキシ 2-5-トルヒノンであるスピヌロジン Spinulosin 並びに 3-オキシ 4-メトキシ 2-5-トルヒノンなるフミガチン Fumigatin の二者である。

第107表



前者は抗菌作用は弱いが、後者は5~50萬倍でコレラ菌、葡萄状球菌、脾脱疽細菌等の發育を阻止すると云ふ。

斯様に近似物質でありながら、細菌に

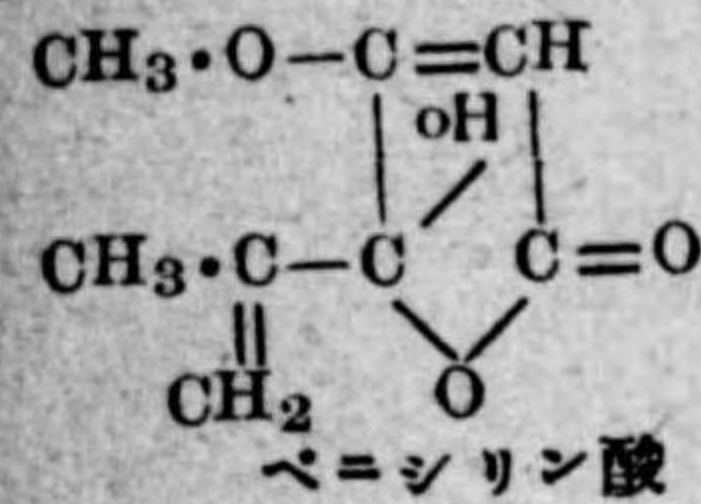


對する効果が異なることから暗示を得て、更に是等と化學構造の近似した諸種の物質を合成し、其抗菌作用が檢せられた。其中にはフミガチンの更に3~10倍もの

強い抗菌作用のあるものも見出されて居る。

I) テトロニン酸誘導體

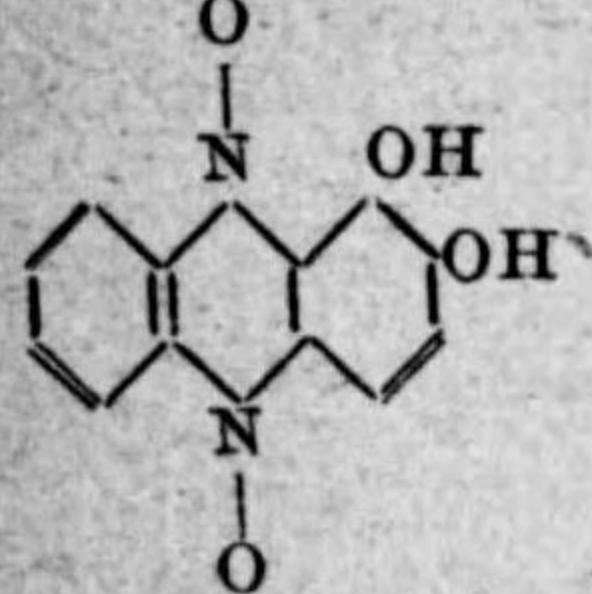
第109表



此中で特に大切なるものはペニシリン酸である。其抗菌性はトルヒノンの最強性のものに等しい位強い。

II) フェナチン系物質

第110表



此中では1種の色素であるピオチアニン並びにチ・オキシフェナチン N-N'-デオキシドが大切であつて、後者は溶血性連鎖状球菌に對し50萬倍の稀釋液で完全に之を阻止すると云ふ。

以上之を要するに、種々の抗菌性物質が唱へられて居り、何れもズルフォンアミド剤などの遠く及ばない高度の稀釋液で強い抗菌作用を有して居る。然し多くは毒性が強く實際に之を使用し得られない大きな缺點がある。是等を漸次改良研究して完全なる治療剤の實現が望ましい。

索引

[ア]	
アクチノミセチン.....	111
アクチノミチン.....	111, 186
アスペルギリン.....	111
アスペルギリン酸.....	111
アセチル・ズルファミン.....	41
アチノン(山之内).....	12
アサブロン(塩野).....	9
アナピオン(大日本製薬).....	7
アベラグリソ(武田).....	49
アミノ・メトキシ・メチル・ベンツォール・ズルフォン・サエチルアミド.....	6
アモナル.....	5, 92
アルバジル.....	7
アルバジルC(山之内).....	7
アルブチッド.....	6
[イ]	
イルガフェン.....	8, 30, 41, 88, 91, 105
イルガミッド.....	6, 30, 41, 92
[ウ]	
ヴァーメス性疾患.....	82, 177
ウリノーゲン(塩野義).....	7
ウリロン(ウレロル)(Bayer).....	7
Wood 株.....	121
[エ]	
疫 痢.....	74
エチル・バンミザン.....	10
[オ]	
N ₄ -α-ブローム・テトロニール・ズルファミンアミド.....	14
N ₄ -ベンツォイル・ズルファミン.....	4
[カ]	
瓦斯瘰癧.....	81, 175
蛔虫症.....	103
潰瘍性大腸炎.....	103
各種微生物のペニシリンに對する感受性.....	126
カチオン石鹼(カチオン活性剤).....	16
[キ]	
氣管支肺炎.....	100
ギガンチン酸.....	111
逆性石鹼(陽性石鹼).....	16
急性中耳炎.....	182
急性腹膜炎.....	180
[ク]	
クラビホルモン.....	111
グラミチザン.....	111, 185
グリラトキシシ.....	111
[ケ]	
K-培地.....	166

結膜炎.....183
ゲリゾン(山之内).....3
原ブロントジル.....3

〔 コ 〕

琥珀酸ズルファチアツォール...76
抗菌性物質による療法.....110
骨髄炎.....179
コップ法.....120

〔 サ 〕

最近の化学療法.....1
作業核.....66
Sabin氏法.....93
サブロー氏培養基.....115,116
サルゾール(武田).....11
サルファダイアジン.....
.....9,41,47,88,90
サルファニールアミド.....3
サルファメラジン.....10

〔 シ 〕

4・アミノ・4'・サメチール・
アミノ・ベンツォール・ズル
フォンアニリド.....8
4・アミノ・4'・ニコチニール・
アミノ・サフェニール・
ズルフォン.....19,30
4・アミノ・4'・ベンツォイル・
アミノ・サフェニール
ズルフォン.....19
4・3'・サアミノ・ベンツォール
ズルフォンアニリド.....8
4・4'・アセチールアミノ・
ニトロ・サフェニール
ズルフォン.....19

4・4'・アミノ・ベンツォール・
ズルフォン・アニリド.....8
4・4'・サニトロ・サフェニール
ズルフォン.....19
4・4'・4Bis(6'・ズルフォン・
2'・オキシ・ナフタリン・3'・8
カルボンアミド)サフェニ
ール・ズルフォン.....20
猩紅熱.....79,175
準備培養(ペニシリン).....116
腎盂炎.....176

〔 ス 〕

ストレプトチタン.....184
ストレプトサイド.....3
ストレプトゾンS.....4
ストレプトビオサミン.....184
ストレプトマイシン.....111,184
ストレプトリチン.....111
スピヌロジン.....111,187
スピロヘーター性疾患.....82
スベキュリン(大日本製薬).....31,92
ズルファアセチルアミド.....30
ズルファ・イソブチール・
チオ・サアツォール.....13
ズルファ・イソプロピール・
チオ・サアツォール.....13
ズルファ・エチール・
チオ・サアツォール.....13
ズルファグアニジン...15,30,41,74
ズルファチアツォール.....
.....12,41,47,88,92
ズルファサアジン(サルファ
ダイアジン).....9,41,47,88,90

ズルファ・チオ・サアツォール...91
ズルファチオフェン.....14
ズルファチッド.....18,30,81
ズルファ・サプローム・
ベンツォール.....14,30
ズルファ・サヨード・ベンツォール15
ズルファ・トリクロール・
ベンツォール.....15
ズルファピリザン.....
.....9,31,36,41,47,75,87
ズルファピリミジン.....9
ズルファミン.....3,31,36,41,47
ズルファメチールチアツォール
.....12,41,47,88
ズルファ・メチール・チオ・
サアツォール.....13
ズルファ・メチール・
トリアツォール.....13
ズルファメラザン.....10
ズルファピラザン.....11,41
ズルファモラチン.....9
ズルフォンアミド剤.....1
一の禁忌.....73
一の効果ある主なる
消化器疾患.....103
一の効果ある呼吸器疾患.....87
一の効果ある神経疾患.....105
一の効果ある伝染病.....74
一の効果ある泌尿器疾患.....103
一の作用の本態.....65
一の使用上の注意.....41
一の奏效経過.....96
一の測定法.....27
一の著效ある循環器病.....84

一の適應症.....29
一の副作用並に其豫防及治療46
一の分類.....2
一の薬理學的事項.....22
一の用法.....35,93
一の用法,用量並に
使用上の注意.....35
一の用量.....36,93
一の豫防的效果ある疾患.....44
ズルフォン性肺炎.....161

〔 セ 〕

赤色ブロントジル.....3
赤痢.....74
ゼブタジン.....4
遷延性心内膜炎.....84,171

〔 ソ 〕

創傷.....176
ソルセブタジン.....4

〔 タ 〕

ダイアジル.....10
體液内ズルフォンアミド
剤の測定法.....27
タサエナン.....9
膽管炎.....103
丹毒.....79,175

〔 チ 〕

チアジル.....10
チアズルフォン.....12
チアゾン(岩城).....11

[4] 索 引

ガアミノ・サフェニール・
 ズルフォン…………… 17
 チオガアツォール簇剤…………… 13
 置換體(補助基)…………… 66
 ガゼブタール簇…………… 7
 — A……………7,30,41
 — C…………… 7
 — B…………… 7
 チトリニン……………111
 チバチン……………18,92
 チバツォール(Ciba)…………… 11
 ガフェニール・ズルフィド…………… 21
 ガフェニール・ズルフォキシド… 20
 ガフェニール・サズルフィド… 21
 ガフテリール……………176
 ガメチールズルファガジン … 91
 チロチゲン……………111,185
 チロトリチン……………185

 [テ]
 テラボル(第一製薬)…………… 3

 [ト]
 動物性寄生虫性疾患…………… 84
 トリアノン(田邊)…………… 9
 トリゼブチンM(鳥居)…………… 12
 トルヒノン……………187

 [ナ]
 内包體……………54,92
 軟性下疳……………181

 [ニ]
 ニグリニン……………111

2-ズルファニールアミド・
 キナツォリン…………… 10
 2-ズルファニールアミド・
 4メチール・5-n-アミル・
 ビリミチン…………… 10

 [ネ]
 ネオアルバジル(山之内)…………… 11
 ネオウリロン(Bayer)…………… 7
 ネオゲリゲン(山之内)…………… 6
 ネオスペキュリン(大日本製薬) 13
 ネチチブセタール(中外)…………… 12
 ネオホレオン(日染)…………… 3

 [ノ]
 膿 胸……………181
 腦 膜 炎……………105,164
 腦膜肺臓炎……………177
 膿 皮 症……………181
 ノ タ チ ン……………111,186

 [ハ]
 肺 壞 疽……………177
 肺 炎…………… 87,161
 — 量…………… 86
 肺 結 核……………101
 敗 血 症…………… 76,169
 肺ガストマ……………101
 微 毒……………173
 白色プロントジル…………… 3
 破 傷 風……………176
 波 狀 熱…………… 80
 バ ツ リ ン……………111

索 引 [5]

バラアミノ安息香酸…………… 68
 バラアミノ・ペンツォール・
 ズルフォンアミド
 (ズルファミン)……………1,2
 p-アミノ・ペンツォール・
 ズルフォンアミド・
 チオフェン…………… 14
 p-アミノ・ペンツォール・ズル
 フォンアミド・サメチール
 イソキサツォール…………… 14
 p-ニトロペンツォール・ズル
 フォンアミド・メチー
 ルチアツォール…………… 12
 p-アミノ・ペンツォール・ズル
 フォンアミド・フェニ
 ルチアツォール…………… 12
 p-アミノ・ペンツォール・ズル
 フォンアミド・メチー
 ルトリアツォール…………… 14
 バラ・ヒドロオキシ・アミノ・
 ペンツォール・ズル
 フォンアミド…………… 70
 バンミチン(武田)……………10, 30

 [ヒ]
 ヒオチアナーゼ……………111
 ヒオチアニン……………111
 ビタミンH'…………… 66
 Pitkin 氏液……………172
 ヒリゼブチン(三共)…………… 9
 ヒリチニン……………18,30,41,92
 ヒリヂューム・クロリッド・アセ
 チルアミノ・ペンツォール・
 4・ズルフォンアミド…………… 17

 [フ]
 フェノクスチン……………20, 105
 フェノチアジン……………20, 105

複雑骨折……………178
 フタル酸ズルファチ
 アツォール…………… 76
 附 着 簇…………… 65
 フミガチン……………111,187
 Friedländer氏
 桿菌による肺炎……………100
 プロアクチノミチン……………111
 プロジール(鳥居)…………… 3
 プロゼブタジン…………… 3
 プロゼブチン(三共)…………… 3
 プロミン…………… 17,30,41,101
 プロントルピン…………… 3
 プロンチリン…………… 3
 プロントジル……………30,41
 — S…………… 4

 (ヘ)
 ベーエルサン(五蝶)…………… 6
 ベーエルテン(五蝶)…………… 6
 ベナチン……………111
 ベニシリナーゼ……………127,155
 ベニシリン(碧素)……………111,112
 — I……………114
 — A……………114
 — X……………114
 — F……………114
 — K……………114
 — H……………111
 — 酸……………111
 — 使用に當りての注意……………151
 — 使用法の一括……………152

—錠……………150
 —G……………114
 —とズルオンアミド
 剤どの優劣……………158
 —と他の薬剤との併用……………159
 —ナトリウム及カルシウム…146
 —軟膏……………149
 —Ⅱ……………114
 —の安定度……………124
 —の化学的性状……………118
 —の禁忌……………160
 —の効果ある主なる疾患……………161
 —に細菌に対する作用……………125
 —の種類……………114
 —の使用濃度並使用量……………135
 —の使用法……………132
 —の使用法の改良法……………139
 —の製剤……………114
 —の精製……………117
 —の製造法……………115
 —の単位……………121
 —の定量法……………119
 —の適應症……………128
 —の副作用……………159
 —の薬理……………122
 —の歴史……………111
 —B……………114
 —Ⅳ……………114
 —を作る徴……………113
 —,眼科用……………149
 —,局所用……………149
 —,齒科用……………150

—,咀嚼用……………150
 ヘルボリン酸……………111
 ベンツ・イソ・チアツォール …… 11
 [ホ]
 蜂窠織炎……………178
 放線状菌病……………80, 175
 ホノカジール……………15
 ホモズルフアミン …… 4
 ホレオン(日染)……………7
 ホンジール(萬有)……………3
 [マ]
 マラリヤ……………83, 176
 マルフアニール ……4, 30, 41
 [ヤ]
 薬 熱……………68
 [ユ]
 ユーロン(萬有)……………7
 [ヨ]
 溶性プロントジル……………3
 [ラ]
 ラクタム環……………118
 [リ]
 リケッチヤ病……………82
 流行性感冒……………80
 流行性腦脊髄膜炎……………106, 165
 リュピアゾル……………4
 淋 疾……………169
 [ル]
 ルジール(武田)……………3

ルーの瓶……………116
 [レ]
 レギオン(大日本製薬)……………6
 連鎖状球菌性肺炎……………100
 [ロ]
 六番菌(細谷)……………111, 187

—製剤……………111
 ロダロン……………17, 92
 ロニン……………9
 [ワ]
 ワイル氏病……………175
 ワンサン氏アンギーナ……………182

I N D E X

[A]
 Abraham……………113, 125
 Actinomyces albus ……111
 — antibioticus ……111, 186
 — griseus ……111, 184
 — lavendulae ……111
 — violaceus ……111
 Actinomycetia ……111
 — A B……………111
 Actinomycin ……111, 186
 Adiplon ……9
 Aethyl Panmidin……………10
 Abasil……………7
 — C……………7
 Albid(Schering)……………6
 Albergatti……………176
 Algrin……………143
 Allopencillin ……114
 Amonal……………5, 92
 Anabion ……7

Anderson……………170
 Andrews……………80
 Appelbaum……………166
 Archer and Discomb……………72
 Armstrong……………126, 140
 Aspergillin……………111
 Aspergillinsäure……………111
 Aspergillus clavatus……………111
 — flavipes……………114
 — flavus……………111
 — fumigatus Fresenius……………111
 — fumigatus H Y……………111
 — gigantitus……………111
 — niger……………111
 — oryzae T F……………113
 Athinon……………12

[B]

Bacillus brevis……………111, 185
 — pyocyaneus……………111
 Backhouse……………51

Bagley	141	Dawson	169, 173
Banks	107	Denfield	169
Bannich	133	Detweiler	49, 52
Barach	133	Diamino-diphenyl-sulfon	17
Beyer	140	Diazil	10
Blake	158	Disseptal	7
Bliss	59	— A	7, 30, 41
Bloomfield	173	— B	7
Bronfenbrenner	141	— C	7
Brown	62	Dobson	175
Bryant	82	Domagk	1, 3
Buttle	17	Donowan	85
	[C]	Dubos	185
Chain	112		[E]
Charney	142	Ellingson	11
Christman	169	Emmentalkäse	66
Cibazol	11		[F]
Citrinin	111	Fairbrother	45
Claviformin	111	Fair third	90
Clostridium Welchii	81	Feldman	17
Coban and Moore	45	Finland	98
Coccidiomycosis	131	Fisher	138
Consworth	51	Fisk	140
Cooper	8	Fleming	111
Coulthard	114, 186	Flippin	51, 89, 98, 169, 177
Craig	159, 166, 175, 180, 181	Florey	112, 121
Cross	175	Foster and Karow	114
Cupmethode	120	Fox	93, 166, 169, 170, 180
	[D]	Friedbey	56
Drogenan	9	Friedländer	100

Friedman	171	Hobby	169
Fromm	17	Humm	106
Fumigatin	111, 187	Hunter	173
	[G]		[I]
Gardner	154	Innenkörper	54, 92
Garvin	50, 89	Irgafen	8, 23, 27, 30, 41, 91, 105
Gelmo	1	Irganid	6, 30, 41, 92
Gerison	3		[J]
Gigantinsäure	111	Janbert and Motz	59
Glasser	180	Johnes	169
Gliotoxin	111	Johnstone and Forgase	57
Goldman	174		[K]
Gonzales	128	Kee	125
Gould	167	Keefer	172
Gramicidin	111, 185	Kelson and White	85, 171
	[H]	Kennedy and Finland	56
Hageman	50	Kennet	177
Hanser	182	Kenny	170
Haptophore Gruppe	66	Kinsman	162
Harkness	59	Kirby	127
Hartman	54	Kocholaty	114
Heckel and Hori	59	Kollmer	78
Hegler	109	Kuhn	16, 65
Heilman and Herrell	120		[L]
Helvolinsäure	111	Laidlow	80
Hendrickson	175	Lapenta	169
Herrell and Brown	76	Larsen	171
Hindle	176	Leistungskern	66
Hinshaw & Feldman	101	Libby	143
Histoplasmosis	131	Libman	171

Lich.....	141, 169
Lichtman	87
Little and Lumb.....	142
Lockwood	170
Loewe.....	127, 172
Löffler	57, 97, 98
Long	48, 59
Lusil	3
[M]	
M & B 693 (May & Baker).....	9
M & B 760	11
Mac Leod.....	67, 85
Mac Neal	171
Marfanil	4, 30, 41
Marriot	97
Marshall	15, 27, 47, 74
Martin.....	8
Meiser.....	5
Mellon	70
Melton	104
Meyers and Hanson.....	114
Meningopneumonitis	177
Miller	83
Moeschlin	55
[N]	
Neilson	169
Nemiar	100
Neo-Albasil	11
Neo-Diseptal	12
Neo-Gerison	6

Neo-Poleon	3
Neo-Speculin.....	13
Neo-Uliron	7
Nigrinin	111
Nissen.....	52
Nordmark	9
Notacin	111, 186
[O]	
Original Prontosil	3
Ottenberg and Fox	53
Oxford unit	121
[P]	
Pakenham	83
Palazzoli.....	59
Panmidin	10
Parker.....	177
Parkins	140
Patulin	111
Peersan	6
Peerten	9
Penatin	111
Penicillic acid	119
Penicillin	111
Penicillinase.....	127
Penimillinsäure.....	111
Penicillium citreoroseum	114
—citrinum.....	111
—claviforme	111
—fimbriatum.....	111
—glaucum	111

—notatum Fleming.....	111
—notatum Westling	111
—patulum	111
—puberulum Bainier	111
—rubrum	112
—spinosum	111
Pepper	51, 100
Pfeiffer	80
Phenothiazin.....	20, 21, 105
Phenoxthin	20, 21, 105
Phonokasil.....	15
Pitkin	172
Plummer & Ensworth.....	48, 51
Pneumonia dosage	37
Poleon.....	7
Ponsil.....	10
P. R. 14	9
Proactinomyces	111
Proactinomycin	111
Promin.....	17, 30, 41, 101
Prontalbin	3
Prontosil album	3
—flavum.....	3
—rubrum.....	3
—S	4
—solubile	3
Prontylin	3
Proseptasine	3
Proseptin	3
Prasil.....	3

Pyocyanase.....	111
Pyocyanin	111
[R]	
Raistrick	112
Ravdin	45
Region.....	6
Reimann.....	51
Robert.....	114
Roblin	9
Rodiron	17, 92
Romansky & Rittmen.....	141, 169
Römcke	51, 100
Ronin.....	9
Rosenberg	105
Roux'sche Flasche	116
Rubiazol.....	4
Rusell.....	56
[S]	
Sabin	93
Sabouraud'sche Nährboden.....	115
Saco	45, 169
Saphirstein	50
Scott and Meerapfel.....	55
Schwartz	182
Scudi and Robinson	52
Seabaugh.....	169
Septazin	4
Shapia.....	173
Shallenberger.....	182
Simon.....	160
Slide cell culture.....	120

Smith and Nemir.....48, 80, 100
 Solseptazin 4
 Spain 56
 Speculin 92
 Spink and Hausen.....104, 109
 Spinulosin.....111, 187
 Stainby170
 Streptomycin.....111, 184
 Streptothricin111
 Streptozon S 4
 Streptside 3
 Sulfa-acthyl-thio-diazol 13
 Salfacid18, 81
 Salfadiazine9, 41, 47, 88; 90
 Salfadibrombenzol14, 39
 Sulfadijodbenzol 15
 Sulfaguanidin15, 30, 74
 Sulfa-isobutyl-thio-diazol 13
 Sulfa-isopropyl-thio-diazol 13
 Sulfamerazin 10
 Sulfamethylazine 10
 Sulfamethylthiazol12, 41, 47, 88
 Sulfa-methyl-thio-diazol 13
 Sulfa-methyl-triazol 13
 Sulfamin 3
 Sulfamorazine 91
 Sulfanilamid..... 3
 Sulfapyrazin11, 41, 92
 Sulfapyridin.....
8, 31, 36, 41, 47, 75, 87

Sulfapyrimidin..... 9
 Sulfathiazol.....
11, 31, 36, 41, 47, 75, 88
 Sulfathiodiazol 91
 Sulfathiofen 14
 Sulfatrichlorbenzol 15
 Sulzol 11
 Sweeney177
 Sweet167

[T]

Tarvin 51
 Tgank 56
 Therapol..... 3
 Thiasulfon 12
 Thiazolidine.....119
 Thiazon 11
 Thomas and France..... 45
 Thyrothricin.....185
 Tibatin18, 92
 Toluchinon187
 Toxoplasmosis131
 Trianon 9
 Trefouél 1
 Triseptin M 12
 Tyrocidin111, 185

[U]

Uliron (Uleron) 7
 Ulinogen 7

[V]

Verdrängungsreaktion..... 65

Vicillin.....113
 Vonkennel 13
 Vorkultur116
 [W]
 Wagner 83
 Waksman184
 Walker175
 Warner154
 Welch.....176
 Werner 27

Whitby 8
 Woods..... 66
 Woofter182
 Wettstain159
 Wright120
 [Y]
 Yuron 7
 [Z]
 Zoo de lone 28



2665

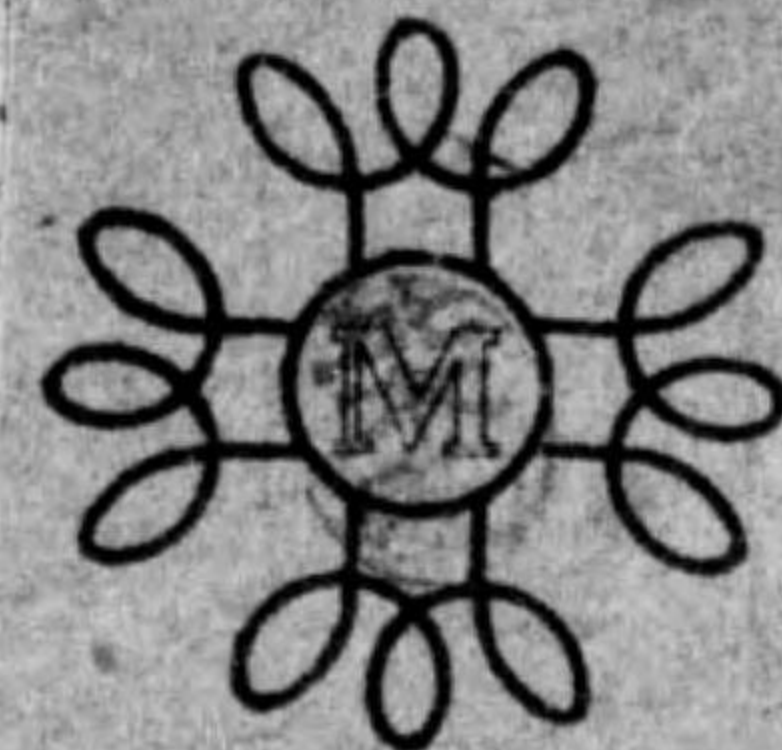
昭和二十二年三月六日印刷

昭和二十二年三月十日發行

35円

【定價35圓】

(荷造送料3圓)



著者 柴田 經一郎

發行人 今泉 宅男

東京都芝區芝公園五號地一〇

印刷人 中澤 二郎

印刷所 中澤印刷所

長野縣上田市原町

配給元 日本出版配給株式會社

東京都神田區淡路町二ノ九

發行所 合資 民風社
會社

本社・東京都芝區芝公園五號地一〇

上田分室・上田市下房山町(振替・長野1974)

日本出版協會會員番號 A 213040

K

6
3

M

60-1876



1200501273666



終